

Granada DANSEI アンデス

凹凸大玉模様吹き出し後、谷の用に切り立たせた起伏のある意匠。

●機能 防藻・防カビ、弾性

●使用材料・使用器具

使用材料

グラナダ弾性	20kg/角缶
専用骨材 3厘	20kg/紙袋
5厘	20kg/紙袋
キクスイ プライマー スーパーE	15kg/角缶

使用器具

計量	秤
下塗り	エアレススプレーなど
基層塗り	リシンガン
模様塗り	スタッコガン
模様付け	バリエローラー

●標準施工仕様

(20℃、65%RH)

工程	使用材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗り 回数	工程間隔時間(hr)		備考
					工程内	工程間	
下塗り	キクスイ プライマー スーパーE	15kg 無希釈	0.15~0.19	1	—	3以上	エアレススプレーなど
基層塗り	グラナダ弾性	20kg	0.8~1.0	1	—	6以上	リシンガン 口径:4~6mm 吹圧:0.5~0.6MPa
	清水	吹付け塗り 1~2kg コテ塗り 0~0.5kg					
模様塗り	グラナダ弾性	20kg	2.5~3.0	1	—		スタッコガン 口径:8~10mm 吹圧:0.5~0.6MPa
	専用骨材 3厘	6kg					
	5厘	7.5kg					
	清水	0~0.5kg					
パターン 付け	凹凸大玉模様吹き出し後、バリエローラーを使用し、 横方向に峡谷様の溝意匠付けをする。					追っかけ	バリエローラー 模様付け
養生撤去	養生シートなどの撤去を行う。				—	直後又は 乾燥後	
最終養生	施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護 養生をする。				—	24以上	

●標準施工要領

1. 基層塗り

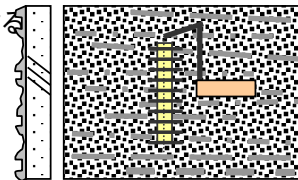
- ①グラナダ弾性は、開缶後缶壁に付着した主材を缶内に落とし、一度均一にまぜる。
- ②グラナダ弾性に、指定量内の清水を加えハンドミキサーなどで均一に混合し、定められた模様になるように粘度を調整する。計量は秤などを使用する。
- ③基層塗りは、下地がスケないようにリシンガンで吹き付けるか、又はコテなどを使用し塗り付ける。

2. 模様塗り

- ①出隅、入隅、開口部廻などは25mm幅の装飾養生をする。また、大面積連続壁の、特に妻壁は各階などで、また長スパン壁は適度なスパンで装飾養生を取るようになる。
- ②主材は定められた模様になるように指定された骨材・清水を加え、ハンドミキサーなどで均一に混合する。なお、材料の計量は秤を使用し、希釈水量はあらかじめ試し塗りして決める。
- ③模様塗りは仕様にあった施工用具を使用し、指定された所要量を凹凸大玉模様で吹き付ける。

3. パターン付け

- ①パターン付けは、模様塗りと並行して追っかけで行う。凹凸大玉模様吹き出し後、バリエローラーを使用し、横方向に峡谷様の溝意匠付けをする。
- ②吹付けパターンの大きさ、バリエローラーの転がし間隔、ランダムさなどにより仕上がりが異なるため、見本板などであらかじめ確認を行っておくようにする。
- ③グラナダ弾性は表面皮張りが早いため、直射日光など避けて施工する。
- ④模様塗り・パターン付けは右側から左側に向け施工して行く。
- ⑤標準意匠は、10~20mmの玉模様吹き出しの玉模様部分にランダムに3~4mm幅の峡谷様の溝が付加された意匠。
- ⑥溝跡は、ラフにランダムに付けていくようにする。
- ⑦パターンは、壁全体のバランスも考慮して整える。



4. 養生撤去他

- ①養生の撤去は、施工終了後直ちに行う。すぐにはできない場合は、材料が完全に乾燥した後、慎重に行うこととする。なお、水切部などにバリの出ている場合は、カッターナイフで取るようにする。
- ②施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。
- ③足場つなぎ部のタッチアップ補修を行う。